

男女共同参画における育児支援

The childcare support system in the gender-free society of Earth Sciences in which both men and women can participate fully

木戸 ゆかり [1]

Yukari Kido [1]

[1] 海洋開発機構・地球内部センター

[1] IFREE, JAMSTEC

http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/jamstec_guide/IFREE/index.html

1998 年合同大会より、多くの協力により会場内に保育室が設置された。これは、女性会員が増え、学会期間中の子供のケアが必要となったためである。当時すでに AGU のような海外の学会では保育室が常設されており、子連れでポスターセッション

で議論する姿なども珍しくなくなりつつあった。国内初の学会保育室は、天文学会で試みられた。その例にならない、参加者の多い合同大会でも検討が進められ、特に安全対策に重点を置き、ボランティアグループで運営をすることで、大会期間中の

会場内に設置することが実現した。2000 年度には、利用料金の見直しが行われ、大会組織委員会より補助制度も確立されるようになり、例年 10 家族以上の利用が続いている。合同学会での保育室設置例にならない、以降、秋季大会においても、地質学会はじめ地震学会、さらには、国内開催の国際学会では WPGM2000、IUGG2003、Goldshmidt2003 などでも学会保育室が行われた。本講演では、学会保育室の設置にいたる歴史とその経緯、利用内容について合同学会での例を中心に紹介し、問題点や今後の課題についても、議論したい。なお、当日は、多くの学会でのイベント保育の経験豊かなファミリーサポート社長の中館氏より、現場担当としての話も伺いながら、取り組みの実例と課題など考えたい。